

## 29 あいちトリエンナーレに対する支援について

(文部科学省)

### 【内容】

国内最大規模の総合的な国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」は、我が国の文化芸術を牽引し、世界の文化芸術の発展に貢献するとともに、地域の活性化に大きく寄与する取組であることから、開催年以外に行われるトリエンナーレ関連事業等を含めて、芸術祭に係る取組全体を継続的に支援すること。

(背景)

- 本県では、3回目となる国際芸術祭「あいちトリエンナーレ 2016」を平成28年8月から10月にかけて開催した。このトリエンナーレは、現代美術を基軸とし、舞台芸術なども併せて展開する総合的・複合的な国際芸術祭であるとともに、まちなかでの展開、普及・教育事業などの「愛知の独自性」により、国内はもとより、海外の著名な美術関係者などからも高く評価され、我が国を代表する国際芸術祭の一つとして認知されている。
- また、「あいちトリエンナーレ」開催の中間年には、その成果を県内各地に広め、現代美術、複合芸術の普及・定着を図ることにより、次回開催への期待感を醸成するための、「あいちトリエンナーレ地域展開事業」を実施し、次代を担う若手芸術家の発掘・育成を行うとともに、子どもたちを始め多くの県民に文化芸術に触れてもらい、本県における文化芸術の裾野を広げた。
- 今後も、本県では、常に新たな視点で先端的な芸術と社会や時代との関わり方などを提示する「あいちトリエンナーレ」を継続開催することにより、世界で最も権威のあるヴェネツィア・ビエンナーレのような発信力の高い国際芸術祭としてさらに発展させることを目指している。国は、「あいちトリエンナーレ」のような発信力の高い国際芸術祭について、我が国における文化芸術の発信力強化の観点から、支援を継続していく必要がある。
- また、国は、文化芸術立国の実現に向けて、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機会を活かして、地域の文化芸術活動の取組や文化プログラムへの重点的な支援を行っていくこととしており、我が国の多様な文化芸術を発信する観点からも、「あいちトリエンナーレ」の開催及び開催年以外に行われる地域展開事業などの関連事業も含めた芸術祭全体への支援を行っていく必要がある。

(参考)

## ◇あいちトリエンナーレ 2016 の結果概要

- (1) テーマ : 虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅
- (2) 会期 : 平成 28 年 8 月 11 日から 10 月 23 日 (74 日間)
- (3) 会場 : 愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋市内、豊橋市内、岡崎市内
- (4) 来場者数 : 601,635 人
- (5) 経済波及効果 : 約 63 億円
- (6) パブリシティ効果 : 33 億円以上
- (7) 主な展開 :

### 【現代美術】

- ・国内外 85 組のアーティストが最先端の現代美術を紹介
- ・まちなかでの作品展示による賑わいを創出

### 【舞台芸術】

- ・国内外から 10 組が参加し、最先端のダンス、音楽等パフォーミングアーツを上演
- ・モーツァルト作曲のオペラ「魔笛」を独創的な演出により上演

### 【普及・教育】

- ・子どもや一般の方々が創作を楽しめる場を設けるとともに、アートを体感できるワークショップ等を開催
- ・「学校等向け団体鑑賞プログラム」や「学校へのアーティスト派遣事業」を実施

### 【連携事業】

- ・2か所の「アートラボあいち」で県内3つの芸術大学との連携による作品展示等
- ・参加アーティストの作品を県内4か所の文化施設等において巡回展示



《 成果の継承 》

## ◇あいちトリエンナーレ地域展開事業 (平成 29 年度、平成 30 年度)

目的 あいちトリエンナーレの成果を県内地域に伝え、現代美術、複合芸術の普及・定着を図り次回開催への期待感を醸成する。

次代を担う若手芸術家の発掘・育成を行うとともに、子ども達に文化芸術に触れてもらい、本県における文化芸術の裾野を広げる。

### 平成 27 年度

現代美術展 : となりの人びとー現代美術 in 春日井【春日井市】

おでかけ展示 : 現代美術展周辺の文化施設で作品を展示【瀬戸市瀬戸蔵始め2か所】

学校派遣 : 春日井市内の4つの小学校へ作家を講師として派遣

若手芸術家育成 : アーツ・チャレンジ2016(若手アーティストによる制作・展示)【名古屋市】

地元文化団体活用 : 名フィルによるコンサートとワークショップ【田原市、武豊町】



現代美術展



学校派遣



地元文化団体活用



《 期待感の醸成 》

あいちトリエンナーレ 2019 の開催